

災害時の支援内容別に複数の機関と協定を結んでいる例①

■ 京都市（京都市情報館サイトより抜粋）

- 京都市では、京都市地域防災計画に基づき、獣医師会や動物愛護団体、ボランティア団体等と連携し、飼い主の被災や避難により放置等されるおそれのあるペットの保護収容対策や避難所での必要な支援を行うため、以下の災害協定を各法人・団体と締結している。

◆ 災害時の動物救護活動に関する基本協定

【相手方】

公益社団法人京都市獣医師会

【協定の主な内容】

- 京都動物愛護センターに収容された動物又は飼い主と共に避難所等に避難した動物に対する応急手当
- 飼い主からの動物に関する健康相談
- 京都市獣医師会の会員動物病院による施設、設備、物資の供給
- 避難訓練への参加

◆ 災害時における飼い主等への支援に関する協定

【相手方】

特定非営利活動法人アンビシャス

【協定の主な内容】

- 避難所代表者からの同行避難を受け入れる場合の相談対応
- 避難所代表者からの要請に応じ、飼い主等からの避難所等での飼養に関する相談対応
- 被災動物への支援等に関する情報の収集及びSNS等を活用した情報の発信

◆ 災害時における動物の飼養・保管に関する物資の提供の協力に関する協定

【相手方】

近畿ケネル協同組合、日本ヒルズ・コルゲート株式会社、
公益財団法人関西盲導犬協会、株式会社レティシアン

【協定の主な内容】

- 保有する物資を優先的に本市に提供
- 本市が指定した引渡し場所までの物資の運搬

災害時の支援内容別に複数の機関と協定を結んでいる例②

■ 兵庫県西宮市（西宮市市政情報サイトより抜粋）

- 西宮市は、尼崎信用金庫と「災害時における避難所利用等に関する協定」を、株式会社ロゴスコーポレーションと「災害時における避難所等への物資供給に関する協定」を締結している。
- 本協定は、災害発生時において、プライバシーに配慮した避難所やペット同伴避難所、その他災害時の拠点を確認し、必要な物資を供給することで、市民の避難生活の早期安定を図ることを目的としている。

◆ 災害時における避難所利用等に関する協定

【相手方】

尼崎信用金庫

【協定の主な内容】

- 災害発生時に西宮市が設置する避難所その他災害時の拠点として尼崎信用金庫が所有する「尼崎信用金庫 名塩総合グラウンド」を提供、ペットと同行できる避難所として開設する。



名塩総合グラウンド

出典：尼崎信用金庫 @amashin_official

◆ 災害時における飼い主等への支援に関する協定

【相手方】

株式会社ロゴスコーポレーション

【協定の主な内容】

- 株式会社ロゴスコーポレーションが保有するテント等の物資を供給する体制を構築。尼崎信用金庫が所有する「尼崎信用金庫 名塩総合グラウンド」内に家族単位で独立したテントを設営する。

災害時の支援内容別に複数の機関と協定を結んでいる例③

■ 北海道苫小牧市（苫小牧市ウェブサイトより抜粋）

- 苫小牧市は、災害時のペット同行避難に関連する協定を関係機関と締結している。

◆ 災害時におけるペット同行避難所としての施設利用に関する協定

【相手方】

一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター運営協会



出典：一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター運営協会

【協定の主な内容】

- 災害発生時の2次避難所として同センター施設の一部を提供
- ペットの避難所として実習棟（夢創館）、飼い主の避難所として本館及び技能研修棟の一部を活用
- 施設住所：苫小牧市新開町4丁目6番12号

◆ 災害時における動物救護活動に関する協定

【相手方】

苫小牧獣医師会

【協定の主な内容】

- 避難所におけるペットの応急救護を実施

◆ 災害時におけるペット同行避難所の運営に関する協定

【相手方】

ライラのしっぽ

【協定の主な内容】

- ペット同行避難所開設時の避難所運営に協力
- ペットの飼育や管理、災害時の備えなどについて啓発活動を実施